

地理院タイル更新情報の提供 手段について

グループC

2015-02-04

テーマ

- 地理院タイル更新情報の提供手段
- Web利用とローカル利用

現状 共通

- LV18を全国一括で持つ必要があるケースは少ない
- 色別標高図はローカルで利用した
- 自治体が新しい地図を持っている

現状 ローカル利用

- 更新が大変
- チェックするのも大変
- 差分だけ貰いたい
- デスクトップではダウンロードが必要

現状 Web利用

- アプリでキャッシュしている。目録は使わず timestampだけでチェック
- クローリングアプリを作っている
- 協定を結べばHDDで貰える
- 直接ダウンロードせず、オフラインキャッシュを利用している

課題 ローカル利用

- 目録の差分を機械的に自動で処理するのは現実的でない
- タイルのtimestampだけ変わるのは運用としておかしい
- タイルのtimestampは公開日付になるべき

課題 Web利用

- 地図の履歴がほしい
 - 去年、一昨年 of 地図が見たい
- 見ている地図がいつのものか知りたい

- 自治体の持つ最新地図が地理院タイルに反映されていない

解決案

- タイルの更新情報をバージョン管理し、利用者に提供して欲しい
- 日付を指定し、それ移行の更新情報をAPI提供したらどうか
- 範囲を指定できるAPIがいい
- タイルの更新情報をタイル化したらどうか
- 標準仕様を自治体に提供し、ほぼ自動で更新できるようにする

ついでに言っておきたい

- 標高タイルがCSVで使いにくい
- 標高値をRGBに分解して、PNGで提供してほしい
- タイルファイルサイズ LV13辺りが大きい